

令和8年度

新津軽大橋防災減災第2号工事

添 付 図 面

番号	図 面 の 名 称	枚数	備考
	位 置 図	1	
1	補 強 一 般 図 (1/2)	1	
2	補 強 一 般 図 (2/2)	1	
3	A1橋台落橋防止システム詳細図(1/5)	1	
4	A1橋台落橋防止システム詳細図(2/5)	1	
5	A1橋台落橋防止システム詳細図(3/5)	1	
6	A1橋台落橋防止システム詳細図(4/5)	1	
7	A1橋台落橋防止システム詳細図(5/5)	1	
8	護 岸 撤 去 ・ 復 旧 工 図 (1/2)	2	
9	護 岸 撤 去 ・ 復 旧 工 図 (2/2)	1	
10	仮 設 足 場 工 参 考 図 (1/2)	1	
11	仮 設 足 場 工 参 考 図 (2/2)	1	
合計		13	

県営 新津軽大橋地区 通作条件整備事業

県内位置図



新津軽大橋防災減災第2号工事
施工箇所

新津軽大橋防災減災第2号工

図面の名称	図面番号
-------	------

位置図	
縮尺: 無縮	

測量	
----	--

設計	
----	--

製図	原図
製図	複写

青 森 県

S=1 : 500

橋 長 316360

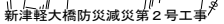
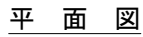
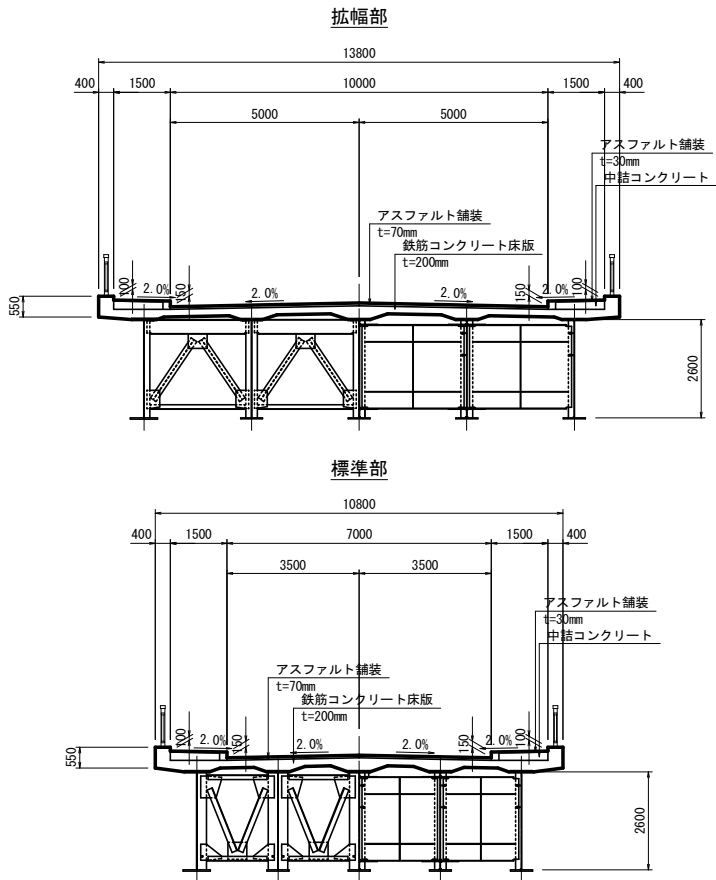


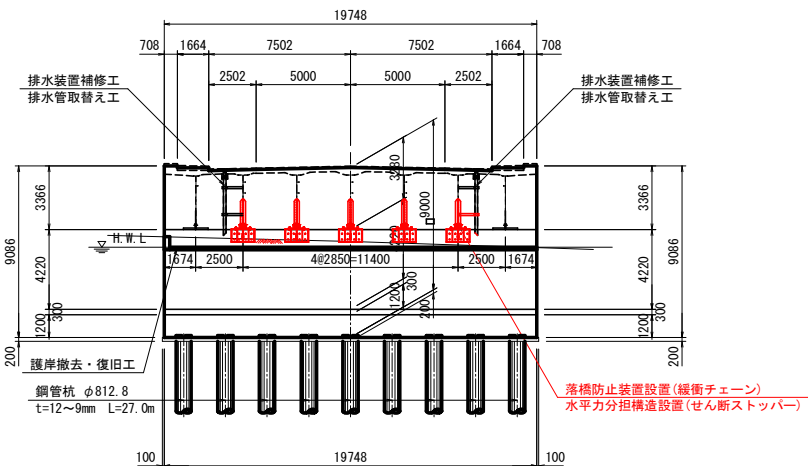
図 面 の 名 称		図 面 番 号
補強一般図(1/2)		1
縮 尺 1:500		
事 業 名		
地 区 名		
路 線 名 等	津軽北部広域農道	
業 務 名	新津軽大橋防災減災第1号委託	
青森県西北農林水産事務所		

補強一般図(2/2)

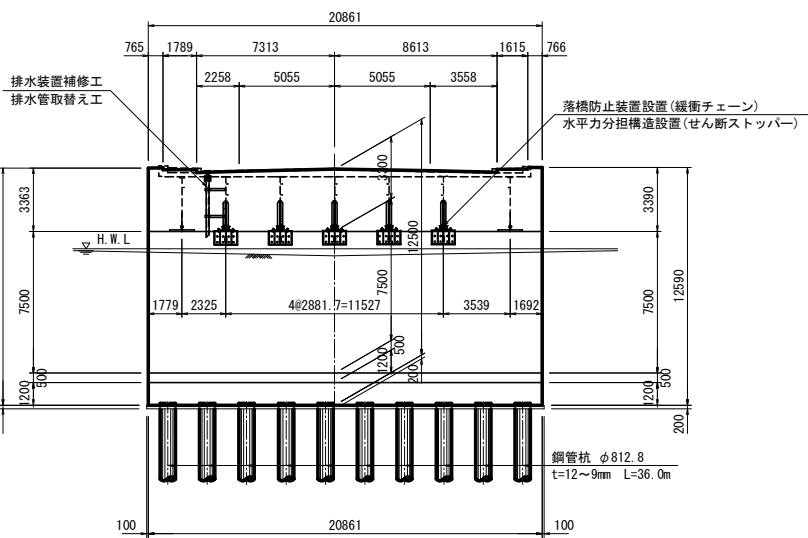
断面図 S=1:100



A1橋台正面図

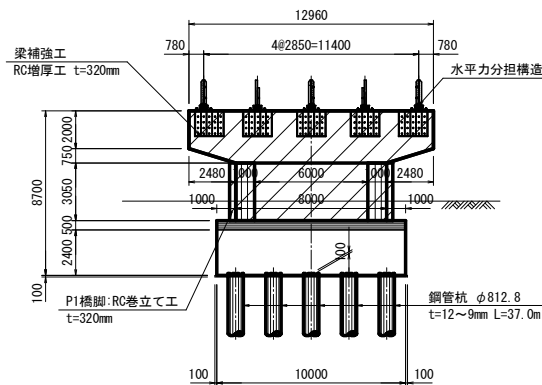


A2橋台正面図

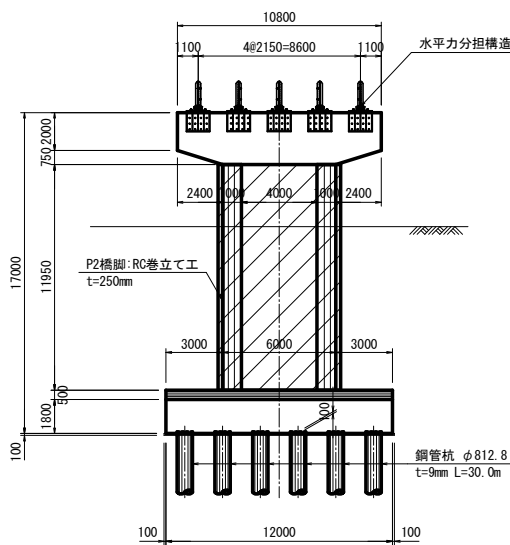


下部工正面図 S=1:200

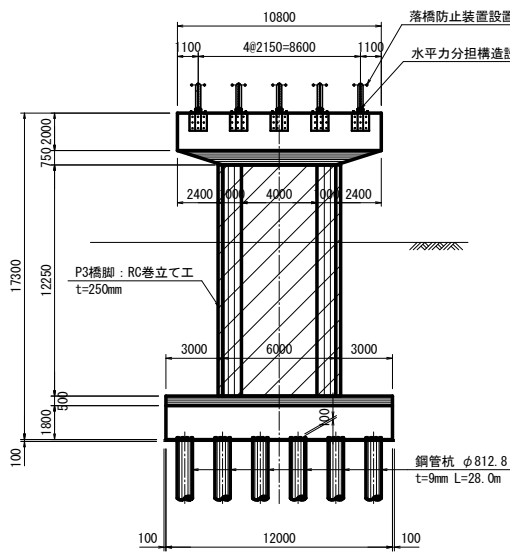
P1橋脚正面図



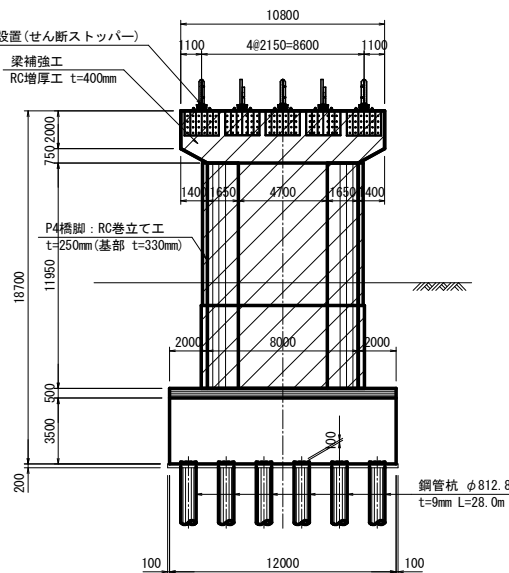
P2橋脚正面図



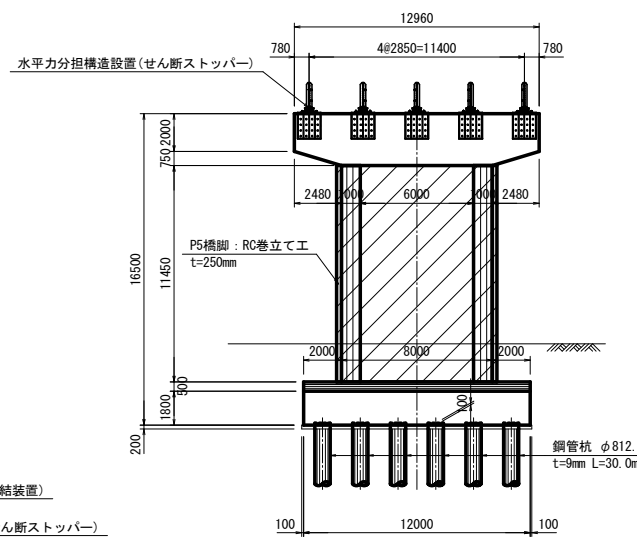
P3橋脚正面図



P4橋脚正面図



P5橋脚正面図



補強対策工	
橋脚補強工	P1、P2、P3、P4、P5：RC巻立て工
梁補強工	P1、P4：RC増厚工
水平力分担構造	A1、P1、P2、P3、P4、P5、A2：せん断ストッパー
落橋防止工	A1、A2：緩衝チェーン、P3：桁連結装置
排水装置補修工	排水管取替え工
護岸補修工	護岸撤去・復旧工

落橋防止システム	
既設支承条件	支承板支承(レベル1対応)
A1橋台	桁かかり長 満足：必要桁かかり長0.962m≦現況桁かかり長1.190m
	軸方向落橋防止 必要：緩衝チェーン
	直角方向落橋防止 不要：4基以上の下部構造で支持されている3径間以上の橋
	水平力分担構造 必要：支承レベル2対応 せん断ストッパー
P1橋脚	桁かかり長 満足：連続桁支点上のため
	軸方向落橋防止 不要：〃
	直角方向落橋防止 不要：〃
	水平力分担構造 必要：支承レベル2対応 せん断ストッパー
P2橋脚	桁かかり長 満足：連続桁支点上のため
	軸方向落橋防止 不要：〃
	直角方向落橋防止 不要：〃
	水平力分担構造 必要：支承レベル2対応 せん断ストッパー
P3橋脚	桁かかり長 満足：必要桁かかり長0.962m≦現況桁かかり長1.135m
	軸方向落橋防止 必要：桁連結装置
	直角方向落橋防止 不要：4基以上の下部構造で支持されている3径間以上の橋
	水平力分担構造 必要：支承レベル2対応 せん断ストッパー
P4橋脚	桁かかり長 満足：連続桁支点上のため
	軸方向落橋防止 不要：〃
	直角方向落橋防止 不要：〃
	水平力分担構造 必要：支承レベル2対応 せん断ストッパー
P5橋脚	桁かかり長 満足：連続桁支点上のため
	軸方向落橋防止 不要：〃
	直角方向落橋防止 不要：〃
	水平力分担構造 必要：支承レベル2対応 せん断ストッパー
A2橋台	桁かかり長 満足：必要桁かかり長0.962m≦現況桁かかり長1.214m
	軸方向落橋防止 必要：緩衝チェーン
	直角方向落橋防止 不要：4基以上の下部構造で支持されている3径間以上の橋
	水平力分担構造 必要：支承レベル2対応 せん断ストッパー

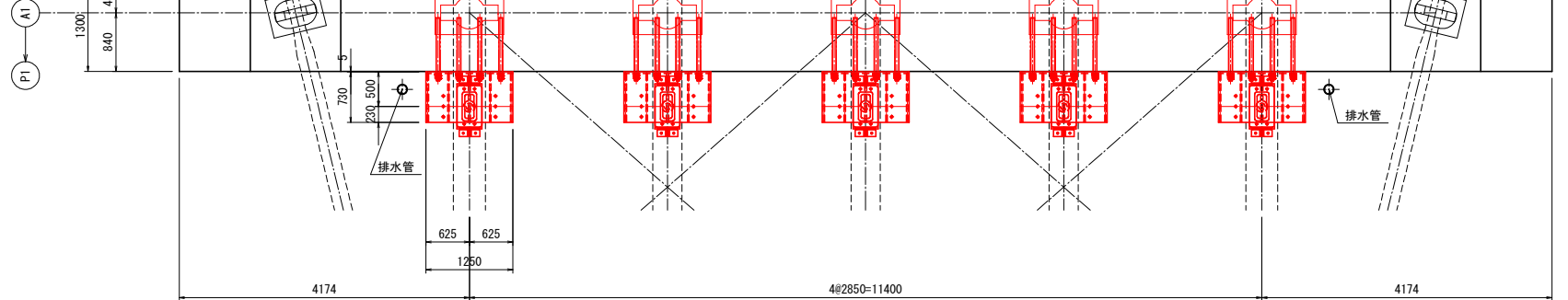
耐震補強設計条件	
耐震性能	耐震性能2
橋の重要度区分	B種の橋
耐震性能照査における橋の限界状態の考え方	橋脚基部に生じる損傷の修復を容易に行える程度で抑える。
地域別補正係数	B2地域 五所川原市(Cz:0.85,C1z:1.0,C11z:0.85)
地盤種別	III種地盤
下部工耐震補強	柱
	梁
補強仕様(柱)	軸方向鉄筋
	帯鉄筋
補強仕様(梁)	側面鉄筋
	スタラップ
維持管理条件	点検方法
	検査路
適用基準等	点検時特記事項
	適用基準等

橋梁諸元	
橋名	新津軽大橋(シンツガルオオハシ)
路線名	津軽北部広域農道
供用年月日	1989(平成元)年11月(経過年数35年)
設計活荷重	一等橋(TL-20)
形式	3径間連続鋼非合成I桁橋(2連)
橋長	316.360m
支間長	3#52.420m+3#52.420m
幅員	車道7.00~10.00m、歩道1.50m×2
支承	鋼製支承
雪荷重	W=1.0kN/mm ²
斜角	A1、P1~P5:90°00'00"、A2:左81°30'00"
形式	躯体
	基礎
設計震度	コンクリート
	鉄筋
材料強度	コンクリート
	鉄筋
支持地盤	砂質土層
	適用基準

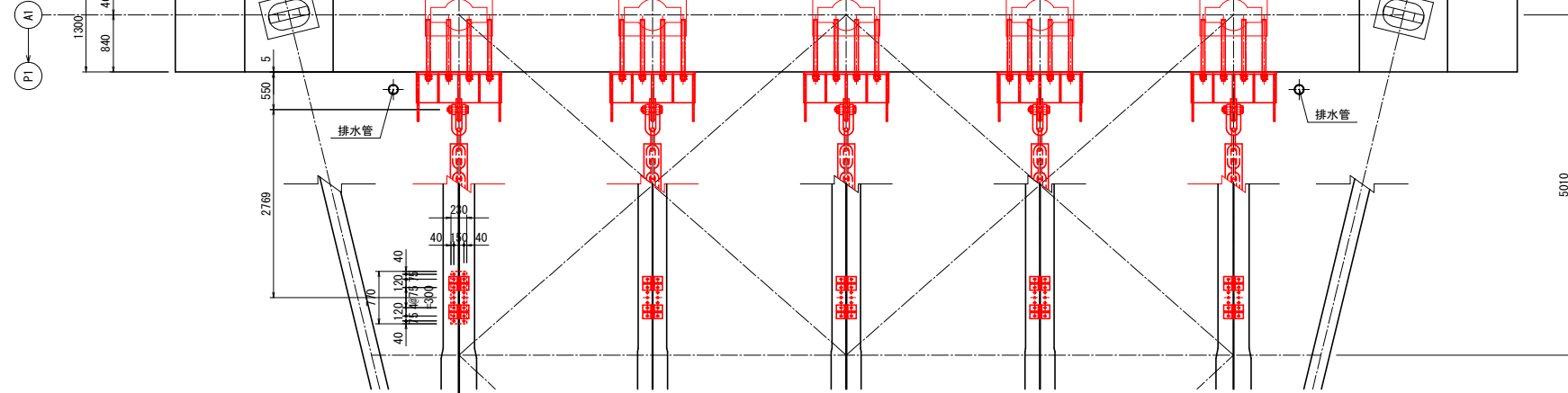
新津軽大橋防災減災第2号工事	
図面の名称	図面番号
補強一般図(2/2)	2
縮尺図示	
事業名	
地区名	
路線名等	津軽北部広域農道
業務名	新津軽大橋防災減災第1号委託
青森県西北農林水産事務所	

(落橋防止システム配置図)

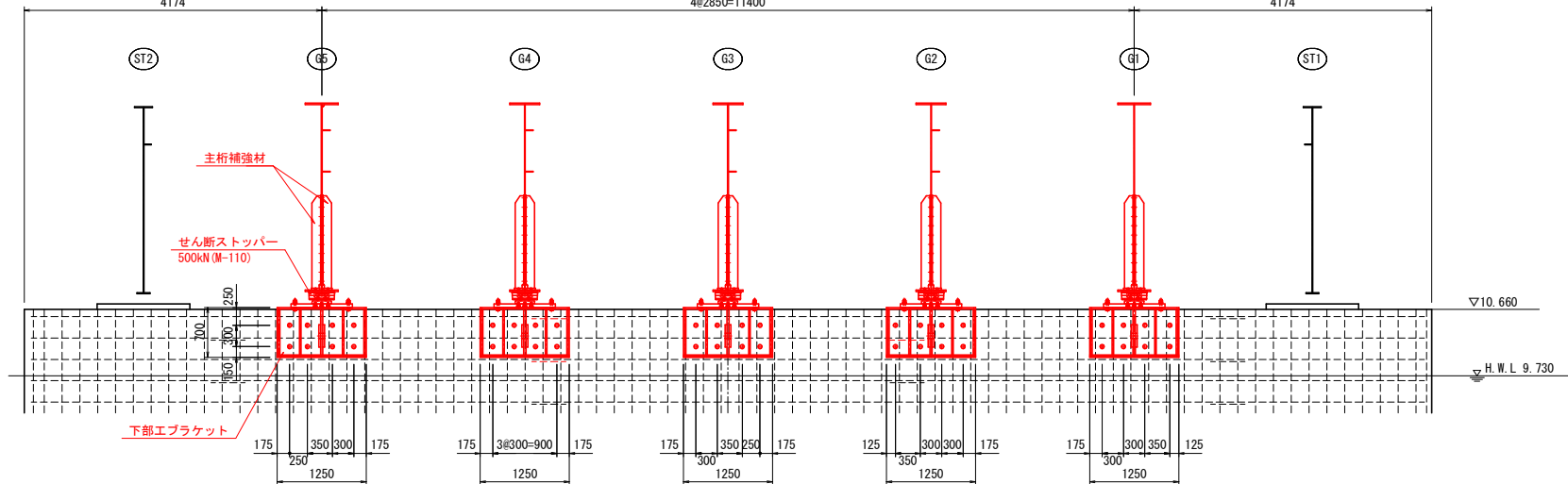
S=1:50



S=1:50

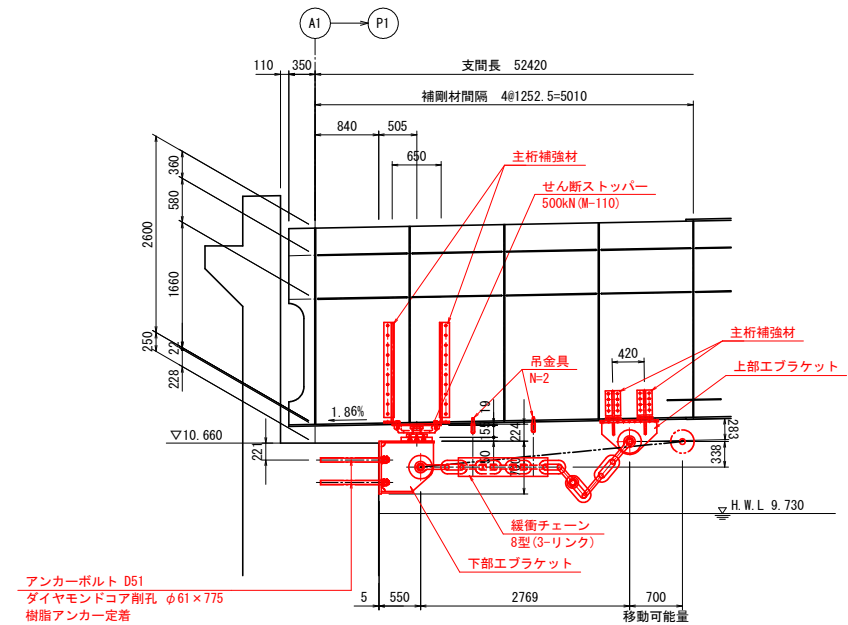


S=1:50

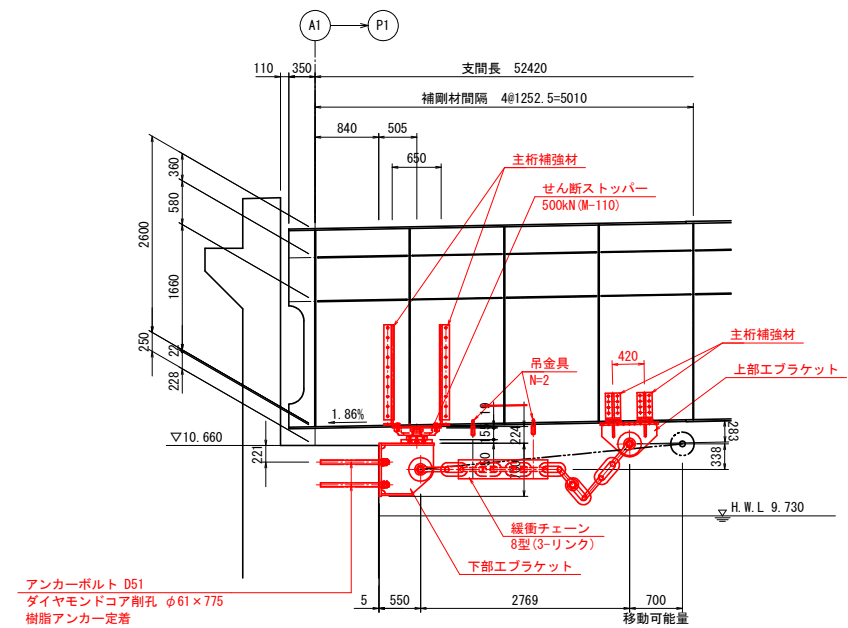


S=1:50

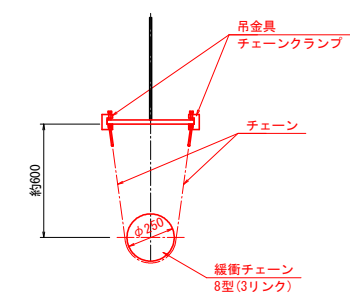
(G1, G5行)



(G2, G3, G4桁)



S=1:20



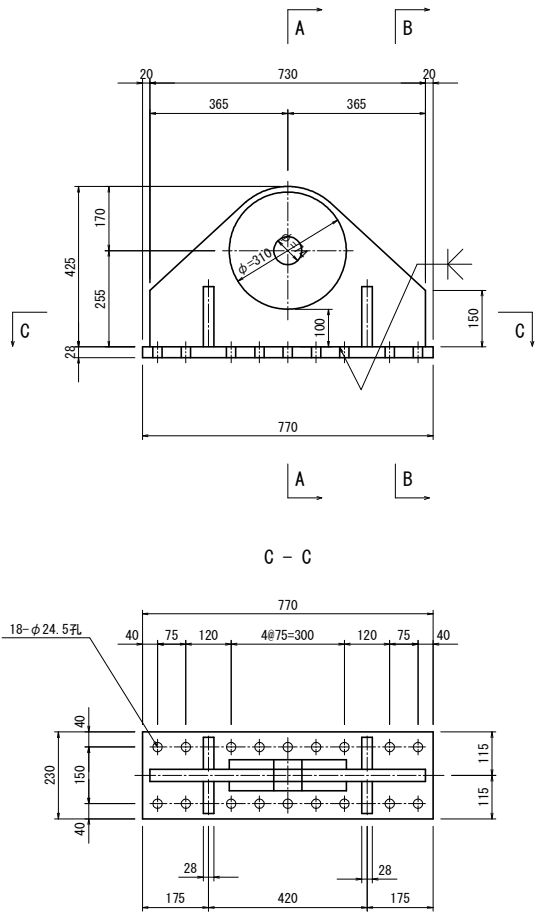
※注記

1. 製作・施工前に必ず現場計測の上決定のこと。
2. アンカー削孔の際は既設鉄筋を破断せぬよう、鉄筋探査を行うこと。

A1橋台落橋防止システム詳細図(2/5)
(落橋防止構造詳細図(1/2))

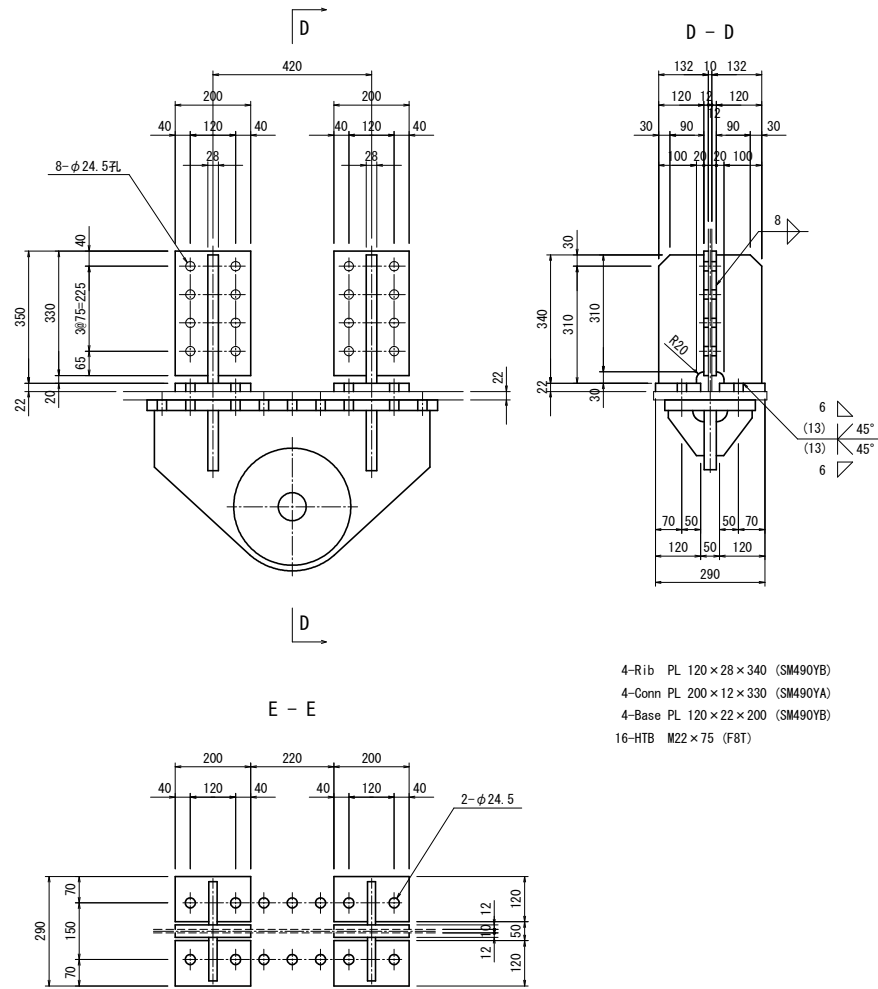
上部エブラケット詳細図

S=1:10



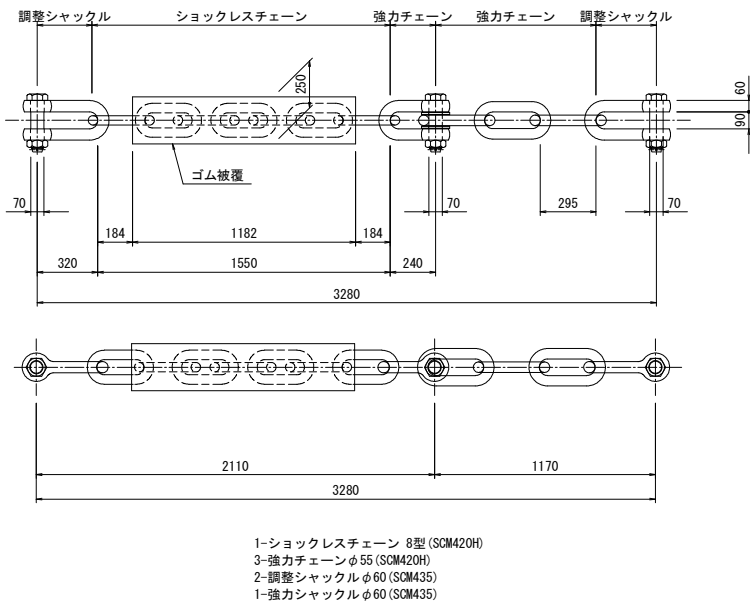
主桁補強材詳細図

S=1:10

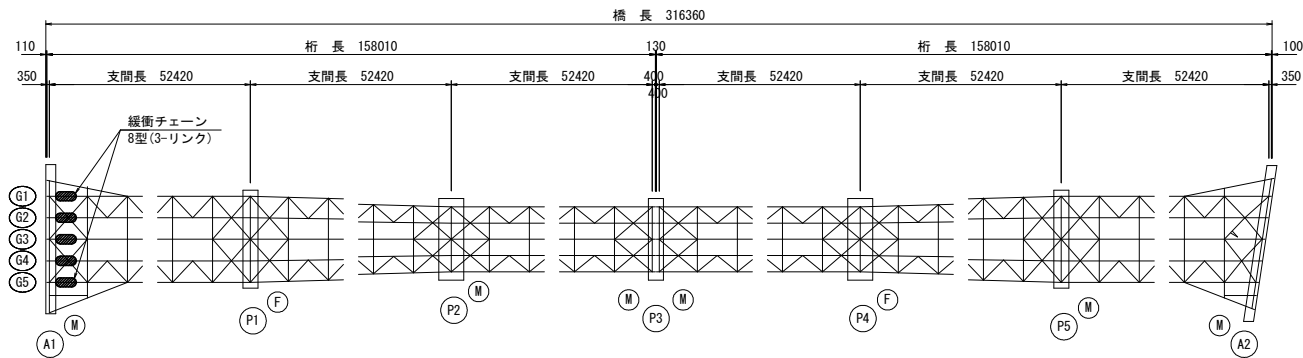


緩衝チェーン詳細図
(8型 3リンク, 許容荷重 1200kN)

S=1:20



位置図



- 注記)
- 特記なき材質は、SM400Aとする。
 - 鋼材加工、緩衝チェーン長さ及び取付位置は、現地調査の上、最終決定のこと。
 - チェーン及びシャックルの材質は、SCM鋼または同等品とする。
 - 上・下部エブラケット及び主桁補強材は、溶融亜鉛メッキ仕上とする。(HDZT77)
 - アンカーボルトのネジ切り部は、溶融亜鉛メッキ仕上とする。(HDZT49)
 - アンカー削孔の際は、既設鉄筋を破断せぬよう、配筋調査を行うこと。
 - 上部エブラケット取付面は、下地処理を行うこと。
 - 現地調査の結果、変更を行う場合は下記を原則とする。
※チェーンの長さを変更する場合は、強力チェーンのリンク数によって行い、
ねじれが発生しないように奇数倍の増減を行う。
 - 寸法のないK形溶接の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

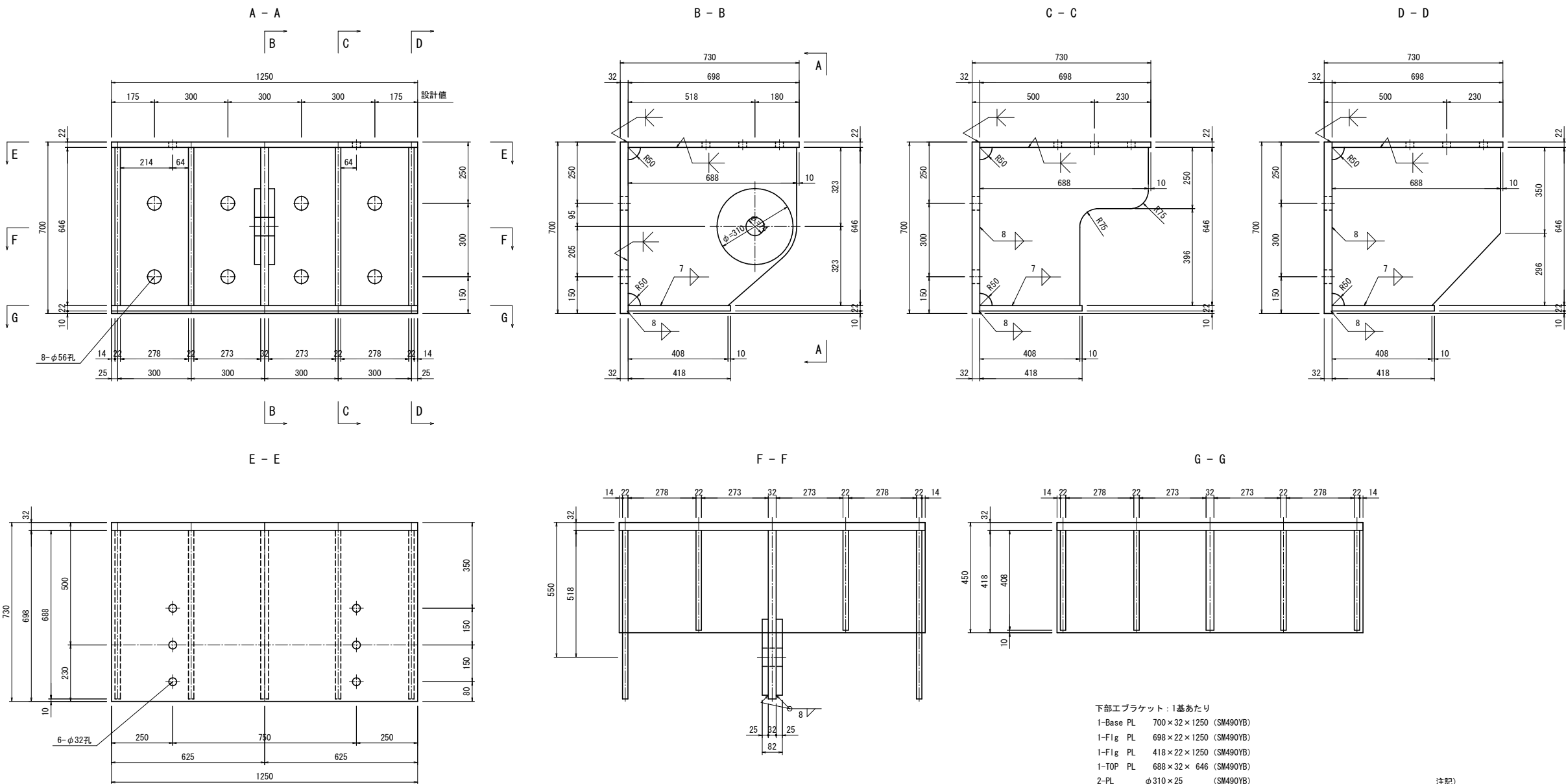
新津軽大橋防災減災第2号工事	
図面の名称	図面番号
A1橋台落橋防止システム詳細図(2/5)	4
縮尺図示	
事業名	
地区名	
路線名等	津軽北部広域農道
業務名	新津軽大橋防災減災第1号委託
青森県西北農林水産事務所	

A1橋台落橋防止システム詳細図(3/5)

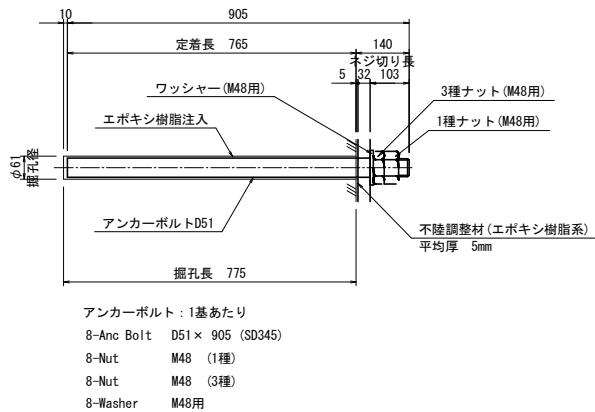
S=1:10

(落橋防止構造詳細図(2/2))

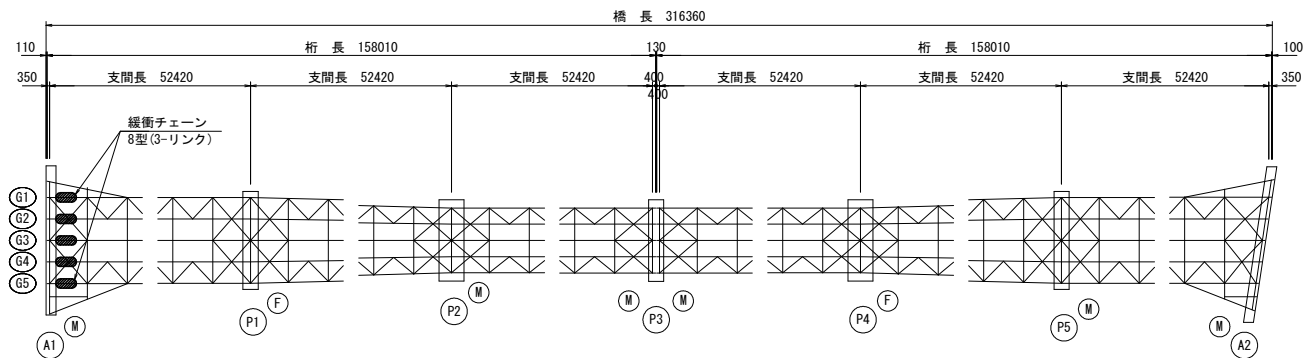
下部エブラケット



アンカーボルト詳細図



位置図



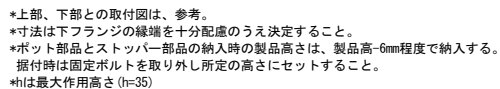
- 注記)
- 特記なき材質は、SM400Aとする。
 - 鋼材加工、緩衝チェーン長さ及び取付位置は、現地調査の上、最終決定のこと。
 - チェーン及びシャックルの材質は、SCM鋼または同等品とする。
 - 上・下部エブラケット及び主桁補強材は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(HDZT77)
 - アンカーボルトのネジ切り部は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(HDZT49)
 - アンカー削孔の際は、既設鉄筋を破断せぬよう、配筋調査を行うこと。
 - 上部エブラケット取付面は、下地処理を行うこと。
 - 現地調査の結果、変更を行う場合は下記を原則とする。
※チェーンの長さを変更する場合は、強力チェーンのリンク数によって行い、ねじれが発生しないように奇数倍の増減を行う。
 - 寸法のないK形溶接の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

新津軽大橋防災減災第2号工事	
図面の名称	図面番号
A1橋台落橋防止システム詳細図(3/5)	5
縮尺	1:10
事業名	
地区名	
路線名等	津軽北部広域農道
業務名	新津軽大橋防災減災第1号委託
青森県西北農林水産事務所	

(水平力分担構造詳細図(1/2))

S=1:10

(橋軸直角方向)

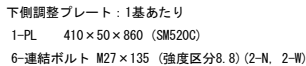


(橋軸方向)

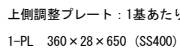


	A	B	C	D	L	L'	W	W'
M-110	504	414	344	486	594	350	91.3	123.8

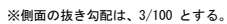
下側調整プレート



上側調整プレート



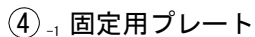
① ポット部品



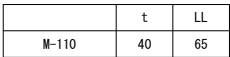
② ストッパー部品



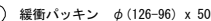
③ リングナット部品



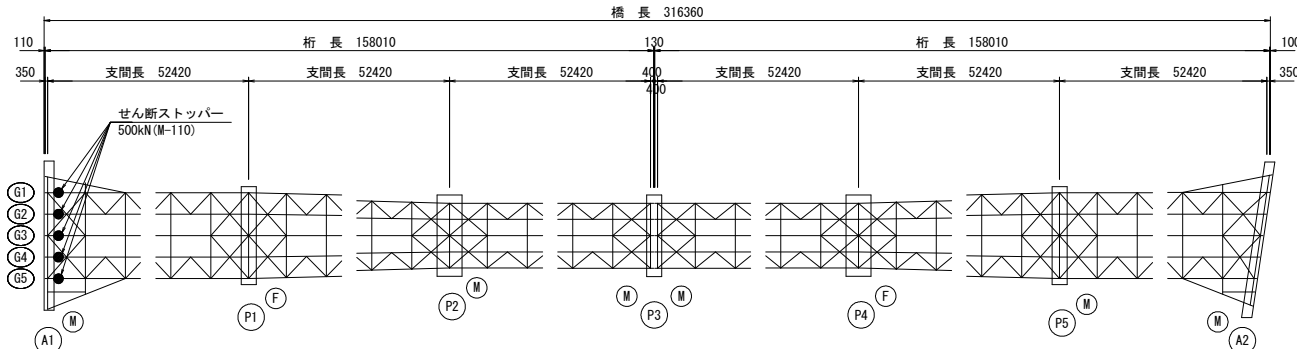
④ 固定用プレート



緩衝パッキン取付図



位置図



材 料 表 (せん断ストッパー:500kN(M-110)タイプ)

部 番	名 称	寸 法	材 質	個 数	重量 (kg)	備 考
1	ボット部品	L x L' x 98	SCW480N	1	W	
2	ストッパー部品	φ270 x 140	SCW480N	1	23.3	
3	リングナット部品	φ164 x 28	S45CN	1	3.4	
4-1	固定用プレート	75 x 85 x 6	SS400	2	0.4	FB
4-2	スベークサー	20A x t	SP	2	0.1	
5	固定用ボルト、ワッシャー	M16 x 25, LL	強度区分4.8	2 / 2	0.3	
6	セットボルト、ワッシャー	M30 x 75, 85	強度区分8.8	2 / 2	2.8	上側
7	セットボルト、ワッシャー	M22 x 55	強度区分8.8	8	2.1	下側
8	緩衝パッキン	φ (126-96) x 50	合成ゴム	1	-	低反発型合成ゴム
9	化粧ボルト、ワッシャー	M16 x 25	強度区分4.8	2	0.1	
10	アイボルト	M12用	SS400	-	-	
					W' (kg)	

- *1) ☐ 内部品は、溶融亜鉛メッキ (HDZT 77)
☐ 内部品は、溶融亜鉛メッキ (HDZT 49)
- *2) アイボルトは、架設に必要な本数を協議して決定する。
- *3) 固定用プレート、スーパースーは、ストックサービス後取り除く。
 符号5の固定用プレートは、化粧プレートとして使用する。
- *4) 固定用プレート、スーパースーは、高温塗装希末塗装 30 μ mとする。
- *5) せん断スリッパは、水平になるよう設計する。
 縦断配がある場合は、テーパープレートで調整すること。
- *6) 施工に要する部品は変更する場合があります。
- *7) 調整プレートは、取扱い簡便に書かれておりませんので、別途調整プレート・ボルト価格を含めること。

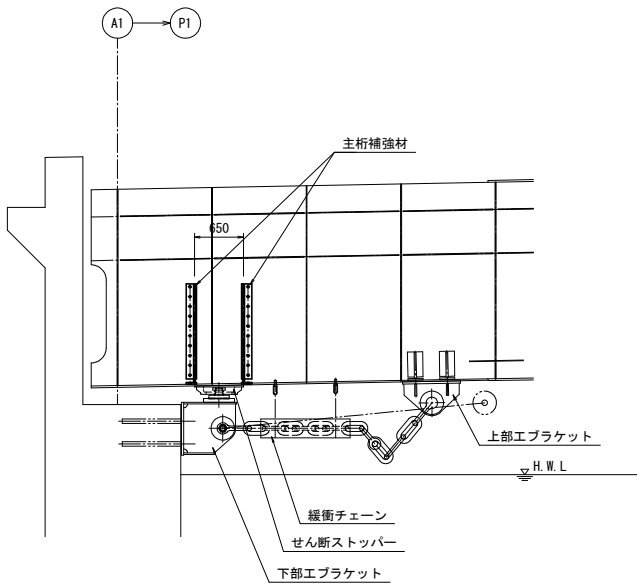
- | | | | |
|---|------------------|----------------------|--------------------|
| ⑤ | 固定用ボルト、ワッシャー | M16 x 25
M16 x LL | 強度区分4.8
強度区分4.8 |
| ⑥ | セットボルト、ワッシャー(上側) | M30 x 75, 85 | 強度区分8.8 |
| ⑦ | セットボルト、ワッシャー(下側) | M22 x 55 | 強度区分8.8 |

図 面 の 名 称		図 面 番 号
A1橋台落橋防止システム詳細図(4/5)		6
縮 尺 1:10		
事 業 名		
地 区 名		
路 線 名 等	津軽北部広域農道	
業 務 名	新津軽大橋防災減災第1号委託	
青森県西北農林水産事務所		

A1橋台落橋防止システム詳細図 (5/5)
(水平力分担構造詳細図 (2/2))

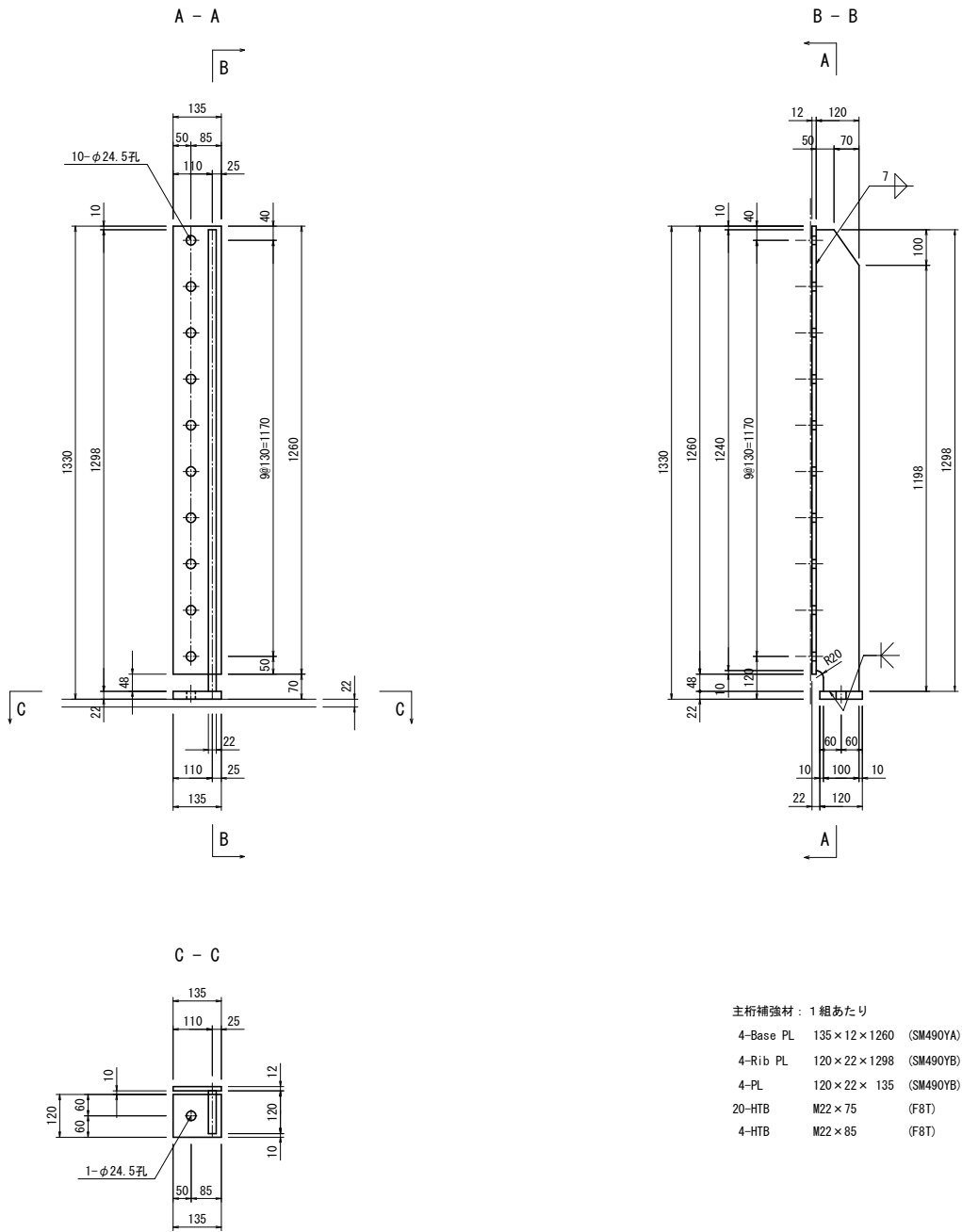
主桁補強材配置図

S=1:50



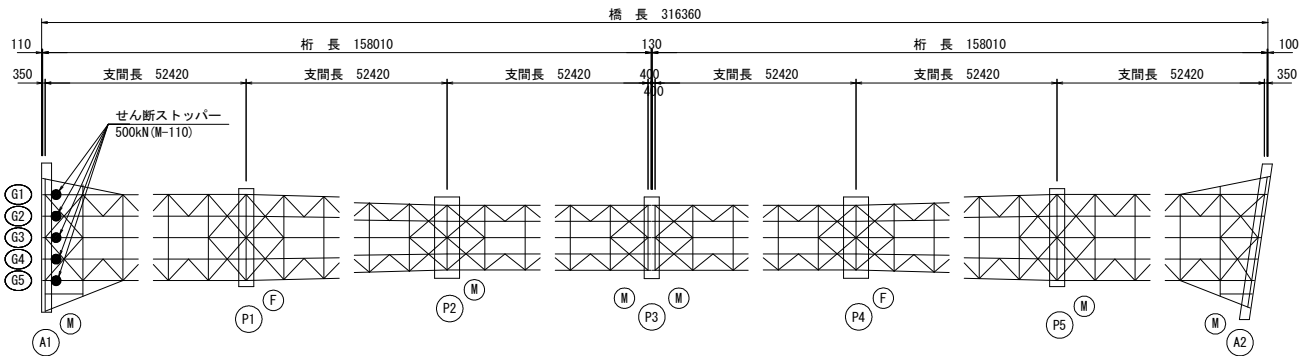
主桁補強材詳細図

S=1:10



主桁補強材：1組あたり	
4-Base PL	135×12×1260 (SM490YA)
4-Rib PL	120×22×1298 (SM490YB)
4-PL	120×22×135 (SM490YB)
20-HTB	M22×75 (F8T)
4-HTB	M22×85 (F8T)

位置図

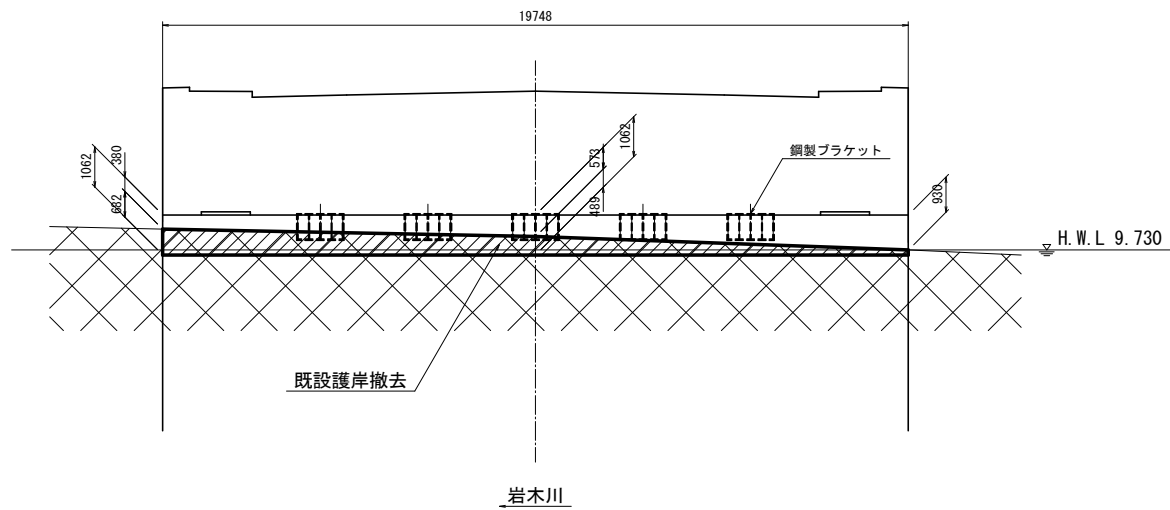


- 注記)
- 1) 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 - 2) ブラケットの製作は、現地調査の上、最終決定のこと
 - 3) アンカーボルト孔位置は鉄筋探索の上、削孔を行い、実測の上決定のこと。
 - 4) 主桁補強材を取り付けるボルトの孔明けは、現場にて調整のうえ、行うこと。
 - 5) 下部エブラケット、主桁補強材及び調整プレートは下記の通りの溶融亜鉛メッキ(JIS H 8641)とする。
HDZT 77 鋼板
HDZT 49 アンカーボルト(ネジ切り部のみ)
 - 6) ナット・ワッシャーはメッキ品を使用すること。
 - 7) 寸法のないK形溶接の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

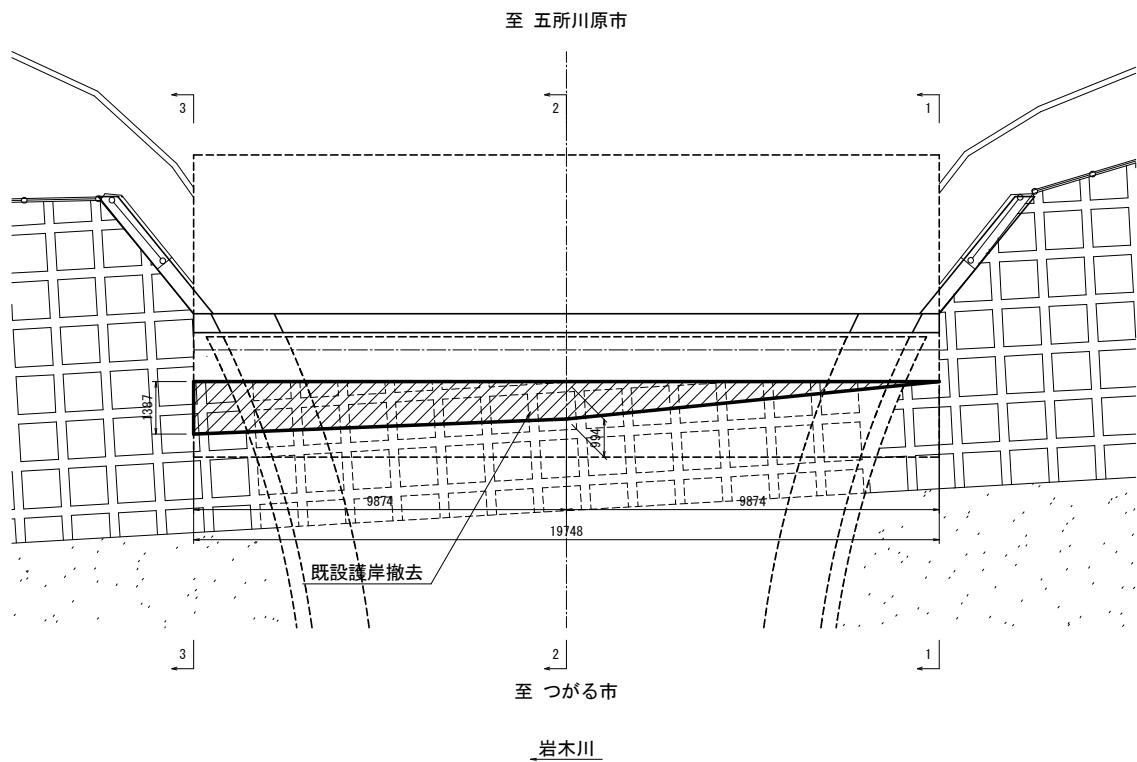
新津軽大橋防災減災第2号工事	
図面の名称	図面番号
A1橋台落橋防止システム詳細図(5/5)	7
縮尺図示	
事業名	
地区名	
路線名等	津軽北部広域農道
業務名	新津軽大橋防災減災第1号委託
青森県西北農林水産事務所	

護岸撤去・復旧工図(1/2)
(既設護岸撤去工)

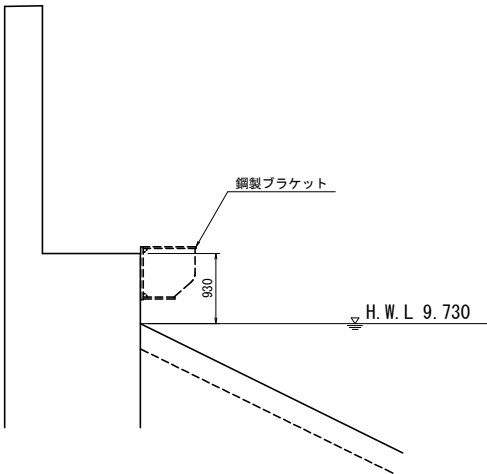
正面図 S=1:100



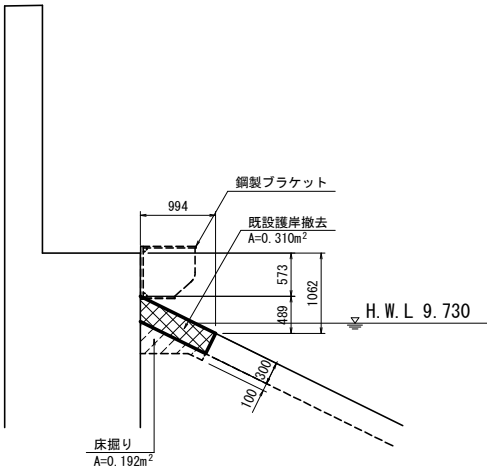
平面図 S=1:100



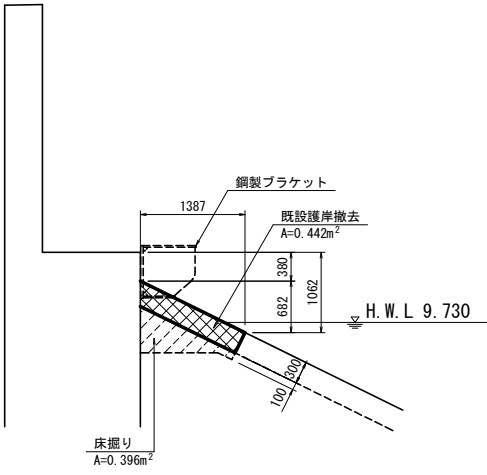
側面図 (1 - 1) S=1:50



側面図 (2 - 2) S=1:50



側面図 (3 - 3) S=1:50



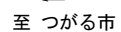
新津軽大橋防災減災第2号工事	
図面の名称	図面番号
護岸撤去・復旧工図(1/2)	8
縮尺図示	
事業名	
地区名	
路線名等	津軽北部広域農道
業務名	新津軽大橋防災減災第1号委託
青森県西北農林水産事務所	

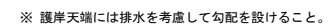
(護岸復旧工)

S=1 : 100

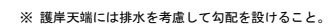


S=1 : 100

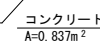

$$(1 - 1)$$

$$(2 - 2)$$


(護岸工部 3 - 3)



(小口止工部 3 - 3)





新津軽大橋防災減災第2号工事		図面番号
図面の名称	9	
護岸撤去・復旧工図(2/2)		
縮尺図示		
事業名		
地区名		
路線名等	津軽北部広域農道	
業務名	新津軽大橋防災減災第1号委託	
青森県西北農林水産事務所		

S=1 : 500

平面图

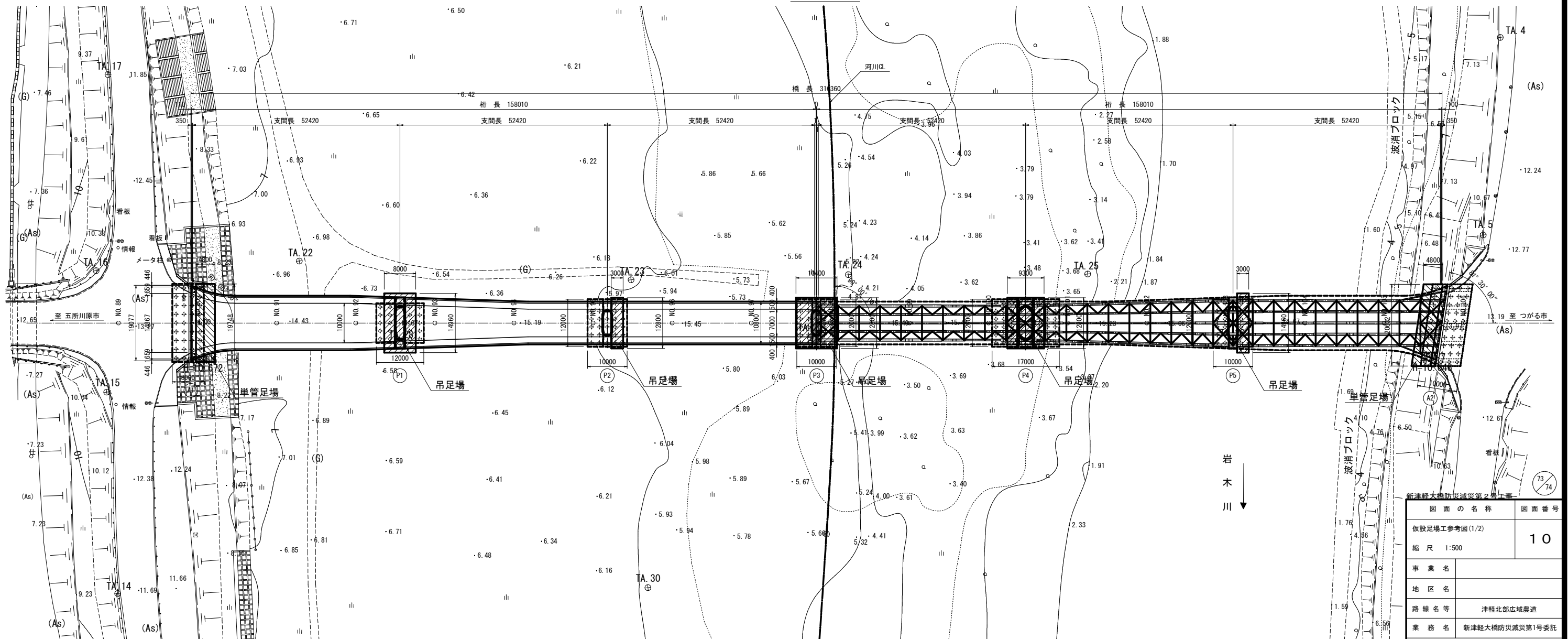
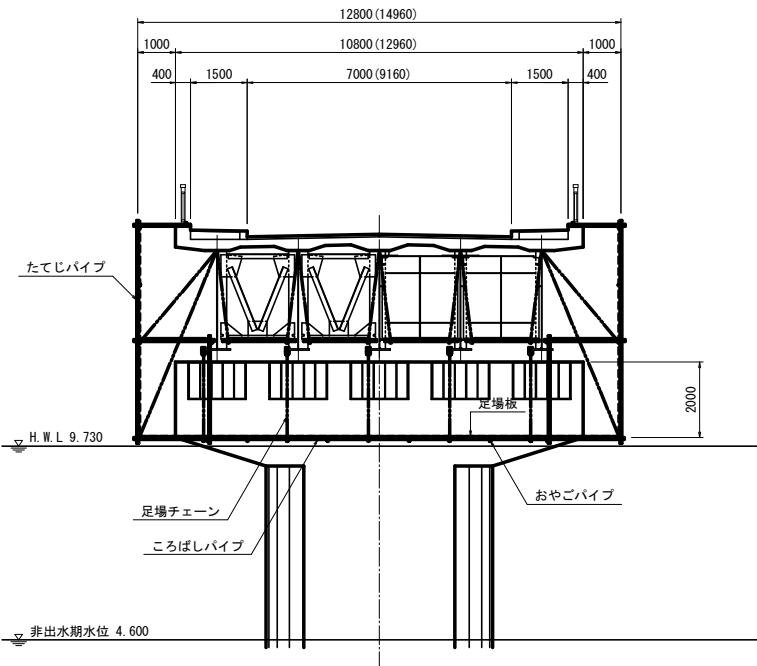


図 面 の 名 称		図面番号
仮設足場工参考図(1/2)		10
縮 尺 1:500		
事 業 名		
地 区 名		
路 線 名 等	津軽北部広域農道	
業 務 名	新津軽大橋防災減災第1号委託	
青森県西北農林水産事務所		

仮設足場工参考図(2/2)

S=1:100

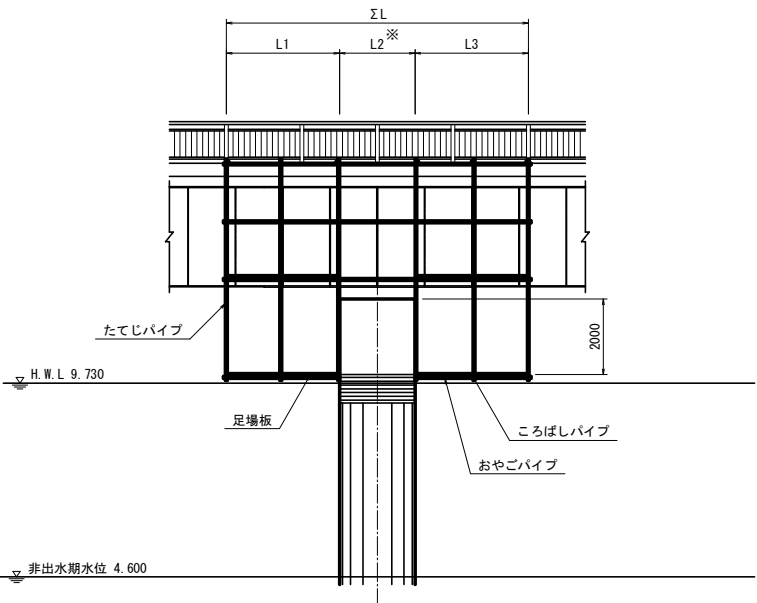
橋脚部正面図



※ () 内の寸法は、P1、P5の寸法を示す。

DL=0.000

橋脚部側面図

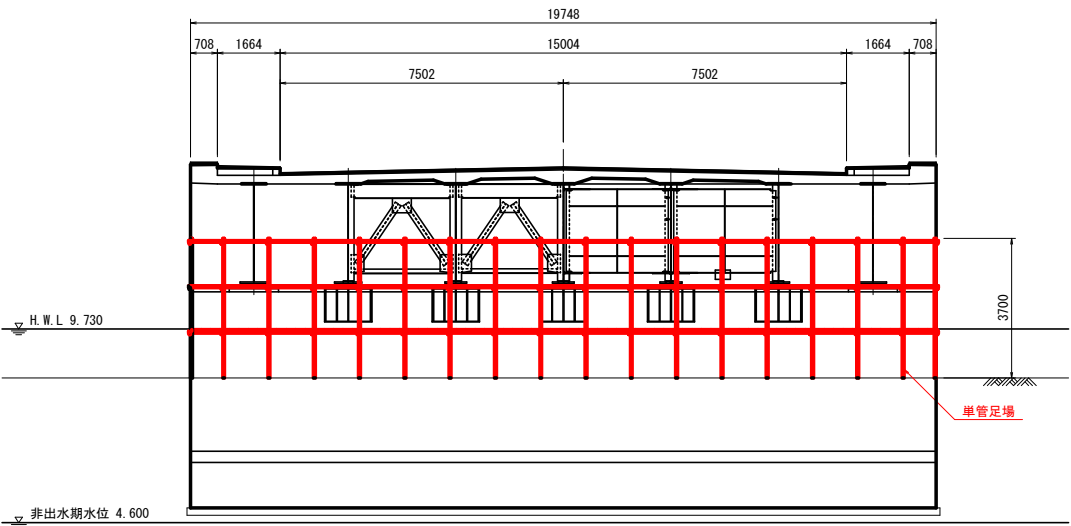


※ P1、P4は、梁補強を含む。

DL=0.000

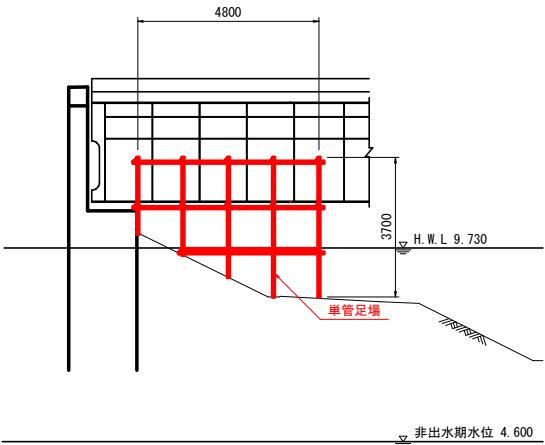
	L1	L2※	L3	ΣL
P1	2680	2640	2680	8000
P2	3000	—	—	3000
P3	4000	2400	4000	10400
P4	2600	4100	2600	9300
P5	—	—	3000	3000

橋台部正面図



DL=0.000

橋台部側面図



DL=0.000

新津軽大橋防災減災第2号工事	
図面の名称	図面番号
仮設足場工参考図(2/2)	11
縮尺	1:500
事業名	
地区名	
路線名等	津軽北部広域農道
業務名	新津軽大橋防災減災第1号委託
青森県西北農林水産事務所	